

令和3年度 昭和幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

はだしてジャンプ みんなのびのび アリンコ隊
～あーいいな愛の幼稚園～

2. 本年度の重点目標

<3つの重点> ①心も身体も元気いっぱい ②たのしい音楽遊び ③やさしい心と仲間づくり

<具現するために大切にしたいこと>

- ・裸足で元気に遊ぶ ・いっぱい歌う活動 ・笑顔のあいさつを広げる ・主体性が育つ活動を中心とする
- ・話が聞けることを大切にする ・ルールやマナーを守り仲良く遊ぶこと ・基本的な生活習慣を育てる

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

1. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- (1) 園や先生の雰囲気のがのびのびしていて安心して通えている。子どもたちは元気で明るく過ごしている。
- (2) 先生方が名前をよく覚えていて、一人一人の個性を伸ばしてくれる。
- (3) 子どもの主体的な活動を大事にしているところが良い。廃材など使ったの創作は子どもの創造性を高める。
- (4) 音楽が楽しく歌が大好きになっている。はだし保育のおかげで子どもは元気である。
- (5) コロナ禍の中での対策を考えた行事の工夫や活動がなされている。引き続き、コロナ対策など子どもの安心・安全な健康管理について配慮してほしい。可能なら園外保育の実施や誕生会への親の参加も要望。
- (6) アプリを使っただけの配信（園からのおたより、園児の欠席連絡、検温調査、バスの連絡など）は便利である。まだ、慣れなかったり見落とす場合があったりするので、確認のお願いをし推進を図る。

2. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 全般に評価は高かった。更に笑顔あふれる温かい雰囲気の園になるよう努めたい。その為に、子どもや職員とのつながりを大切にする。また、一人一授業公開など園内研修の更なる充実を図ると共に、子どもの自己肯定感を高める「いい言葉の推進」を今後も大切にする。
- (2) 家庭との連携を大切に、園からの情報発信を大切に、ドキュメンテーションを取り入れて内容を更に工夫したい。園長だよりは子育てに参考になる「子どもを見つめる視点」で掲載していく。歌声があふれる園にするために「園長先生と歌って遊ぼう」の企画を年3回程実施。
- (3) 人を育てる園として発展させたい。園公開など魅力ある企画を工夫し、園児募集の充実を図る。